

令和元年度
事業報告書

〔 自 平成31年4月 1日 〕
〔 至 令和 2 年3月31日 〕

社会福祉法人 下野市社会福祉協議会

令和元年度社会福祉法人下野市社会福祉協議会事業報告

1. 理事会

期 日	会 場	出席人数	内 容 等
第1回 6月10日(月) (午前9:30~)	市保健福祉センター 「ゆうゆう館」会議室	6名	【議案】 (1) 平成30年度下野市社会福祉協議会事業報告について (2) 平成30年度下野市社会福祉協議会収支決算報告について (3) 令和元年度下野市社会福祉協議会定時評議員会開催における招集事項について 【その他】 (1) 平成30年度日本赤十字社栃木県支部下野市地区収支決算について (2) 平成30年度栃木県共同募金会下野市支会事務費会計収支決算について
第2回 6月25日(火) (午後4:00~)	市保健福祉センター 「ゆうゆう館」会議室	13名	【議案】 (1) 下野市社会福祉協議会会長及び副会長の互選について (2) 下野市社会福祉協議会評議員(欠員補充)候補者の推薦について (3) 下野市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について (4) 下野市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催について
第3回 1月27日(月) (午前9:30~)	市保健福祉センター 「ゆうゆう館」会議室	8名	【報告】 (1) 会長の職務の執行状況について (2) 就労継続支援B型事業所の統合並びに移転について 【議案】 (1) 令和元年度下野市社会福祉協議会収支1次補正予算(案)について (2) 下野市社会福祉協議会表彰被表彰者の決定について (3) 令和元年度第2回評議員会開催における招集事項について

期 日	会 場	出席人数	内 容 等
第4回 3月17日(火) (午前9:30～)	市保健福祉センター 「ゆうゆう館」会議室	8名	【議案】 (1) 令和元年度下野市社会福祉協議会収支2次補正予算(案)について (2) 下野市社会福祉協議会定款の一部変更について (3) 令和2年度下野市社会福祉協議会事業計画(案)について (4) 令和2年度下野市社会福祉協議会収支予算(案)について (5) 令和元年度第3回評議員会開催における招集事項について 【報告】 (1) 職員の採用について 【その他】 (1) 赤い羽根共同募金運営委員会の設置について (2) 令和2年度日本赤十字社栃木県支部下野市地区収支予算について

2. 評議員会

期 日	会 場	出席人数	内 容 等
定時(第1回) 6月25日(火) (午後1:30～)	市保健福祉センター 「ゆうゆう館」会議室	18名	【議案】 (1) 平成30年度下野市社会福祉協議会事業報告について (2) 平成30年度下野市社会福祉協議会収支決算報告について (3) 役員(理事及び監事)の選任について 【その他】 (1) 平成30年度日本赤十字社栃木県支部下野市地区収支決算について (2) 平成30年度栃木県共同募金会下野市支会事務費会計収支決算について

<p>第2回 2月4日(火) (午前9:30~)</p>	<p>市保健福祉センター 「ゆうゆう館」会議室</p>	<p>20名</p>	<p>【報告】 (1) 就労継続支援B型事業所の統合並びに移転について</p> <p>【議案】 (1) 令和元年度下野市社会福祉協議会収支1次補正予算(案)について</p>
<p>第3回 書面により決議をとる決議の省略の方法による (3月26日(木)をもって評議員(現在数)28名全員同意)</p>			<p>【議案】 (1) 令和元年度下野市社会福祉協議会収支2次補正予算(案)について (2) 下野市社会福祉協議会定款の一部変更について (3) 令和2年度下野市社会福祉協議会事業計画(案)について (4) 令和2年度下野市社会福祉協議会収支予算(案)について</p>

3. 評議員選任・解任委員会

期 日	会 場	出席人数	内 容 等
<p>7月9日(火) (午前10:00~)</p>	<p>市保健福祉センター 「ゆうゆう館」 ボランティアルーム</p>	<p>5名</p>	<p>(1) 評議員(欠員補充)の選任について</p>

4. 監査会

期 日	会 場	出席人数	内 容 等
<p>6月4日(火) (午前9:30~)</p>	<p>市保健福祉センター 「ゆうゆう館」会議室</p>	<p>2名</p>	<p>(1) 平成30年度事務事業の執行について (2) 平成30年度収入支出会計監査について</p>

5. 地域福祉

(1) 地域福祉事業

事業名	事業の概要等	期日・会場	備考 ※【 】は30年度実績
地区社協の組織整備	<p>地域福祉活動の拠点となる組織整備を図るためにコミュニティ推進協議会を対象に事業支援を行うとともに新たな地区の事業説明を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東方台地地区 コミュニティ推進協議会に、福祉部会における世代間交流事業、健康講座等の活動助成金を交付した。 ・グリーンタウン地区 コミュニティ推進協議会と連携し、多世代交流事業の活動助成金を交付した。 ・姿西部考古台地地区 コミュニティ推進協議会内に福祉部を組織し、令和2年度から世代間交流事業や夏祭り等の事業調整を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友愛館 ・グリーンタウンコミュニティセンター 	<ul style="list-style-type: none"> ○東方台地地区 <ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流事業 (104名) ・健康教室 (65名) ・居場所づくり (30名) ○グリーンタウン地区 <ul style="list-style-type: none"> ・多世代交流事業
災害ボランティアセンターの設置訓練	<p>災害時、迅速に福祉救援活動・ボランティア支援活動を行うことができるよう災害時対応マニュアルに基づき、職員とボランティアによる設置訓練を実施し、ニーズの対処方法や様式の記入方法を訓練した。</p>	<p>2月8日(土) ゆうゆう館会議室 (市防災訓練と同時開催)</p>	<p>ボランティア 35名【20名】 社協職員 25名【27名】 計 60名【47名】</p>

地域福祉活動計画の推進	第2期地域福祉活動計画（平成29年度～平成33年度）の下野市地域福祉計画推進委員会を開催し進捗状況報告を行った。	3月12日（木） 下野市庁舎	推進委員 9名
第4回しもつけ福祉大会	地域住民や福祉関係者等が地域福祉の理解を深め、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指すために講演会等を開催し、併せて席上において社会福祉の発展に貢献された方々を表彰した。 テーマ：「講談で語る成年後見制度」 講師：神田織音氏	2月15日（土） 南河内公民館大ホール	来場者数 約150名 【約100名】 表彰者 ・感謝状（寄付） 個人1名、2団体 ・会長表彰 24名
一般フリートレーニング事業	40歳以上の市内居住者を対象として、健康維持のため機械を使ったトレーニングを実施した。 ・指導者 健康運動指導士 ・チケット 3,000円/11回	月曜日から金曜日 ゆうゆう館 フリートレーニング室	延べ利用者1,734名 【1,648名】 チケット購入者 延べ165名 【154名】
緊急食料等支援事業	緊急一時的に食料に困窮する市内に居住する方に、必要最小限の食料の給付を行った。	通 年	利用者 6名 【5名】

(2) 高齢者福祉事業

事業名	事業の概要等	期日・会場	備考 ※【 】は30年度実績
ふれあいサロンゆうゆう (市委託事業)	<p>一般介護予防事業としてボランティア等の協力を得ながら健康体操や講話・講座・レクリエーションなどを実施し、介護予防に努めながら孤立感や不安感の解消を図るため交流の場を提供した。</p> <p>・定員 各25名</p>	<p>週2回 (水曜日・金曜日) ゆうゆう館 会議室等</p>	<p>水曜16名, 延べ 530名 【571名】 金曜23名, 延べ 848名 【992名】 合計39名, 延べ1,378名 【1,563名】</p>
生活支援体制整備事業 (市委託事業)	<p>高齢者が住み慣れた地域で生き生きとした生活を送れるように健康づくり及び介護予防に必要なサービスを地域で提供できる体制の基盤づくりの支援や、地域ふれあいサロンの支援を行った。</p> <p>職員：第1層SC1名・第2層SC6名体制</p> <p>・第1層協議体・第2層協議体の開催 ・各自治会への事業説明 ・講演会、各種研修会への参加 ・生活実態調査を実施 ・外出困難者へのお出かけ支援事業への取り組み</p>	<p>通 年</p>	<p>・第1層協議体 年2回 ・第2層協議体 3地区×月1回 ・説明会 3自治会 ・講演会 8月3日 102名参加 ・実態調査 5自治会 ・お出かけ支援 3回</p>

地域ふれあいサロン事業 (市委託事業)	高齢者が地域の中でいきいきとした生活ができるよう、高齢者と地域住民が共に触れ合う場を作り、高齢者を地域で支え合うという意識の向上と地域保健福祉活動の促進を図るため、サロン活動の支援と助成金の交付を行った。	通 年	<サロン数> 国分寺地区 15サロン 石橋地区 22サロン 南河内地区 20サロン 合 計 57サロン
------------------------	--	-----	---

(3) 障がい児者福祉事業

事業名	事業の概要等	期日・会場	備 考 ※【 】は30年度実績
障がい児者交流会	心身障がい児者とその家族及び障がい児者団体を対象に、民生委員児童委員・ボランティア等の協力を得て開催した。音楽リトミック、ミニゲームを通して障がい児者とその家族の親睦を図った。 ・ペットボトルボウリング・サークルビンゴ・ボール運び	9月28日(土) 国分寺聖武館	障害者・家族 78名 ボランティア 15名 講師、手話通訳 6名 計 99名 【96名】
就労継続B型事業所なのはな・すみれの運営	在宅の障がい者に作業や集団生活を通じ、地域社会での自立就労を促進し生活訓練等を行った。また、国分寺西小学校施設の改修工事内容等の調整を行った。 ・作業内容 箱折り、ネームタグ、施設外就労訓練、車部品、説明書の袋詰め、ベビーバンド、緩衝材、おもちゃ部品等	なのはな事業所	利用者 12名 【14名】
		すみれ事業所	利用者 9名 【8名】

(4) 児童・青少年福祉事業

事業名	事業の概要等	期日・会場	備考 ※【 】は30年度実績
安全帽子購入助成事業	市内11小学校新入学児童を対象に、児童の交通安全・事故防止を目的に学校指定の安全帽子購入費用の助成を行った。	2月交付 市内小学校	577名 【589名】
福祉活動費助成事業	市内小中学校及び高校を対象に、福祉への理解と関心を高めるとともに、児童・生徒への福祉活動啓発を目的として、1校あたり50,000円の助成を行った。	年間 市内小学校・中学校・高校	16校 【16校】
親子ふれあい事業	親子が協力しあい、イベントを通して福祉を身近に感じることで思いやりの心を育てることを目的に実施した。 ・体験内容 障がい理解啓発講座・知的障がい疑似体験	8月25日(月) ゆうゆう館会議室	参加者 23名 (大人10名、子供13名) 【39名】
登下校時における児童等の地域見守り活動	児童の安全や犯罪防止活動の一環として、通学路等の見守り活動を実施する団体にベスト、助成金を交付し活動の支援を行った。	通年	14単位老人クラブ その他 2団体 活動人数 355名 【526名】

(5) 福祉教育・啓発

事業名	事業の概要等	期日・会場	備考 ※【 】は30年度実績
ふくし移動講座	<p>主に学校を対象に、福祉に対する理解や関心を深めるきっかけづくりとして様々な福祉学習プログラムを提供し、福祉推進を目的とした移動講座を実施した。</p> <p>【内 容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚障がい者による講話と点字学習、アイマスク体験 ・聴覚障がい者による講話と手話体験 ・車イス体験 ・高齢者疑似体験 	<p>通 年 市内各小学校、企業等</p>	<p>小学校 11校 企業等 1社</p> <p>延べ 50回 【70回】</p>
実習生・職場体験学習受入事業	<p>職場体験学習を希望する学生に対し、現場実習の場を提供した。</p> <p>・学校名</p> <p>獨協医大看護専門学校 4名 栃木県立衛生福祉大学校 10名 国際医療福祉大学 2名</p>	<p>年 間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターこくぶんじ 独協看護 7月・2月 衛生福祉大 5月・6月 ・社協事務所 国際医療 8月1日～ 9月3日 	<p>実習生 16名 【15名】</p>

(6) ボランティア関連事業

事業名	事業の概要等	期日・会場	備考 ※【 】は30年度実績
ボランティアセンターの運営	<p>ボランティア活動についての相談受付、活動紹介、情報の提供及びボランティア保険の取扱いを行った。</p> <p>また、ボランティア活動推進のためのボランティア育成・広報啓発活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動に関する相談対応件数 52件 【58件】 ・上記相談に関しての紹介件数 31件 【28件】 <p>○社協・ボラセン事業に関するボランティア調整、派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい児者交流事業 2名 【1名】 ・ふくし移動講座 253名 【260名】 ・しもつけふくしフェスタ 62名 【55名】 <p>○下野市の事業に関するボランティア調整、派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天平の芋煮会（前日・当日） 13名 【11名】 ・障がい児者スポーツ交流会 5名 【10名】 	通 年	<p>延べ登録者数</p> <p>(個人) 39名 【38名】</p> <p>(団体) 76団体 【76団体】</p> <p>合計 1,917名 【1,947名】</p>
福祉共育ボランティア講座（新規）	<p>市内小中学校で実施する福祉体験学習で、子どもたちを見守りながら充実した学習ができるようサポートしてくれるボランティアを養成することを目的に開催した。</p> <p>《内容》 車いす体験、高齢者疑似体験、小学校での実践</p>	<p>① 6月21日（金） ゆうゆう館 ボランティアルーム</p> <p>② 6月27日（木） 国分寺小学校</p>	参加者 6名

<p>傾聴ボランティア講座 (生涯学習情報センター共催)</p>	<p>相手の気持ちに寄り添い、話しに耳を傾けて心をこめて聴く「傾聴」について、初心者の方を対象に基礎的な知識とコツを学習し、傾聴ボランティア体験を行うことにより傾聴ボランティア活動へのきっかけ作りとして開催した。</p>	<p><全6回：毎週火曜日> 7月9日、16日、23日、 30日、8月6日 (9月中にボランティア体験) フォローアップ 10月8日 生涯学習情報センター</p>	<p>参加者 19名 【18名】</p>
<p>なつ・ジュニアふくし体験 学習</p>	<p>子どもたちの福祉への関心や理解を高め、ボランティア活動への参加のきっかけ作りを目的として、市内の小学4・5・6年生を対象に高齢者への理解として「認知症について」の学習と、「赤い羽根共同募金について」の講話と募金箱作りを行った。</p>	<p>8月5日(月) ゆうゆう館 会議室</p>	<p>参加者 24名 【33名】</p>
<p>手話講習会(入門コース) 「はじめての手話」</p>	<p>手話を通じて聴覚に障がいのある方を理解し、ボランティア活動への関心を高めるため、入門コースとして自己紹介、家族、日常会話等の基本的な手話表現の学習とろう者の方による講演会を行った。</p>	<p><全15回：毎週木曜日> 7月4日～10月24日 ゆうゆう館 ボランティアルーム</p>	<p>参加者 10名 【7名】</p>
<p>点字講習会(入門コース) 「はじめての点字」</p>	<p>視覚障がい者への理解と点字の普及啓発に努めるとともに、ボランティア活動への関心を高めながら点字ボランティアを育成するため、基本的な点字の読み方や打ち方についての学習を行った。</p>	<p><全13回：隔週火曜日> 8月20日～2月18日 ゆうゆう館 ボランティアルーム</p>	<p>参加者 3名 【3名】</p>
<p>サロンボランティア養成 講座(新規)</p>	<p>高齢者の介護予防、閉じこもり防止、仲間作り等の居場所作りが地域で徐々に増えている中、地域づくりのサポートができるよう「レクリエーション」「簡単工作」「コミュニケーション」について学び、サロン活動するうえでのヒントになるよう開催した。</p>	<p><全3回：毎週木曜日> 12月5日、12日、19日 ゆうゆう館 会議室</p>	<p>参加者 24名</p>

災害ボランティア活動講座	災害ボランティアとして活動するために何が出来るか、そして災害からどのように身を守るかを考えるため、栃木県防災士会を講師に招き気象庁DIG(ワークショップ)を行い、その後災害ボランティアセンター立上げ訓練を体験した。	①1月25日(土) ゆうゆう館 会議室 ②2月8日(土) ゆうゆう館 会議室	①参加者 35名 【30名】 ②参加者 31名 【28名】
ボランティアセンター広報紙の発行	ボランティアセンターで開催する各種講座の募集や報告、ボランティアに関する情報等を社協だより「ボランティアセンター情報コーナー“きらり”」に掲載し、住民に周知した。	年6回発行 5月・7月・9月・11月・1月・3月	各戸配布及び関係機関窓口 (16,600部発行)
ボランティア交流会の開催	ボランティアセンターに登録している団体や個人の方を対象に、ボランティア同士の意見交換を通して現状や課題等を把握し、ボランティア同士のネットワークづくりや自己啓発につなげるとともに、相互の交流を図ることを目的に開催した。	① 9月30日(月) ② 11月18日(月) ゆうゆう館 会議室	① 参加者 40名 <22団体33名,個人7名> ② 参加者 41名 <21団体34名,個人7名> 【31団体35名,個人7名】

(7) 福祉イベント事業

事業名	事業の概要等	期日・会場	備考 ※【 】は30年度実績
天平の花まつり招待事業 (下野市観光協会共催)	市内の老人福祉施設・心身障がい児者施設・精神障がい者施設及び障がい者団体を天平の花まつりに招待し、民生委員児童委員の協力によりアトラクション・昼食会等を開催した。	4月5日(金) 天平の花まつり会場	招待数 414名 【423名】
ふれあいふくし運動会 (下野市共催事業)	3地区で実施していた運動会を合同で開催し、老人クラブ連合会・身体障害者福祉会・心身障害児者父母の会等の福祉団体会員及び障がい者施設利用者が参加され民生委員児童委員協議会の協力を得て運動会を実施した。	10月17日(木) 国分寺運動公園	参加者数 767名 【1,127名】

<p>第13回 しもつけふくしフェスタ・2019</p>	<p>市民の地域福祉に対する理解を高め、人と人とのふれあいの場を提供し、温かいまちづくりを目指し「たすけ愛」をテーマに「しもつけふくしフェスタ・2019」を開催し、ふくしスタンプラリーや市民等によるアトラクション発表、ボランティア活動PRや社協事業のPRなどを実施した。 また、広く市民の声を反映するため、検討委員会を設置し事業内容の検討を図った。(委員15名)</p>	<p>11月30日(土) ゆうゆう館</p>	<p>来場者数 約1,700名 【約1,600名】</p>
------------------------------	---	----------------------------	---------------------------------------

(8) 福祉サービス利用支援事業

事業名	事業の概要等	備考 ※【 】は30年度実績
福祉バス(ふれあい号)運行事業	<p>福祉団体の活動及び社会参加を支援するためバスの運行を行った。 《主な事業及び利用団体名》 ・老人クラブ連合会 ・遺族会 ・就労継続支援B型事業所</p>	<p>延べ利用回数 10回 【20回】</p>
手押し車の購入助成事業	<p>外出に使用する手押し車購入費の一部を助成した。 ・対象者 おおむね75歳以上で手押し車を必要とする方 ・助成額 購入費の2分の1(限度額5,000円)</p>	<p>利用者 51件 【37件】</p>
福祉用具等貸出事業	<p>本会が所有する福祉用具、備品及びその他イベント用物品を有効に活用するため貸出しを行った。 ・貸出用具： 車椅子、福祉体験用具、イベント用具、わたあめ機、ポップコーン機、着ぐるみ 等</p>	<p>利用者 車椅子 84台【78件】 イベント用具等 77件【81件】</p>

(9) 日常生活自立支援事業

事業名	事業の概要等	備考 ※【 】は30年度実績								
日常生活自立支援事業 (あすてらす・しもつけ)	<p>基幹的社会福祉協議会として、認知症の高齢者や知的・精神障がいにより判断能力が低下し生活に不安のある方に対し、相談援助や契約、福祉サービス利用支援・金銭管理・書類等の預かりサービスを提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門員の配置 (2名) ・生活支援員の配置 (社協職員6名、登録者10名) ・サービス内容 福祉サービスの利用援助・日常的な金銭管理サービス・書類等の預かりサービス ・利用料 福祉サービス利用手続き・金銭管理 1,000円/時間 書類等の預かりサービス 500円/月 ・地区別利用者数 下野市(22名)・壬生町(7名) ・地区別相談件数 下野市(13件)・壬生町(7件) ・活動実績 合計 463回 <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">認知症高齢者等</td> <td style="padding: 0 5px;">221回</td> <td style="padding: 0 5px;">知的障がい者</td> <td style="padding: 0 5px;">186回</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">精神障がい者</td> <td style="padding: 0 5px;">49回</td> <td style="padding: 0 5px;">身体障がい者</td> <td style="padding: 0 5px;">7回</td> </tr> </table> 	認知症高齢者等	221回	知的障がい者	186回	精神障がい者	49回	身体障がい者	7回	<p>認知症高齢者等 12名【15名】</p> <p>知的障がい者 8名【8名】</p> <p>精神障がい者 3名【3名】</p> <p>身体障がい者 1名【1名】</p> <p>合計 24名 【27名】</p>
認知症高齢者等	221回	知的障がい者	186回							
精神障がい者	49回	身体障がい者	7回							

(10) 生活困窮者自立相談支援事業【下野市委託事業】

①自立相談支援事業

・生活保護に至る前の第2のセーフティネットとして、生活困窮者の相談を受け、本人のニーズに応じた自立支援計画を策定し関係機関との連携を図りながら支援を行った。

○月別統計

※合計欄の（ ）内は30年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談受付件数	5	7	10	7	10	10	7	13	8	7	10	15	109 (96)
相談延べ件数	60	76	99	90	64	73	92	105	99	95	80	121	1,054(1,145)
プラン作成件数	0	1	0	3	0	0	0	3	0	0	0	1	8 (6)
就労者数	1	0	1	1	1	2	0	2	1	0	2	1	12(19)

○新規相談者の内訳

分類	性別			年齢					相談経路		
	男	女	計	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代~	来所	電話	関係機関
人数	55	54	109	13	8	22	19	47	41	13	55
割合	50.5%	49.5%	100%	11.9%	7.3%	20.2%	17.4%	43.1%	37.6%	11.9%	50.5%

○新規相談内容内訳（主訴1つ）

ア. 収入・生活費について（74件） イ. 就職について（7件） ウ. 住まいについて（3件）
 エ. 家族関係・人間関係、DV（5件） オ. ひきこもり、債務、制度に関する事等（17件） カ. 病気・健康・障害のこと（3件）

②家計改善支援事業

・家計に問題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、生活再建を支援した。

○相談内容 ア. 債務整理（自己破産等） イ. 家計収支内容の見直し

○新規相談受付件数 46件 相談延べ件数 534件 プラン作成件数 2件

(11) 相談事業

事業名	事業の概要等	期日・会場		備考
				※【 】は30年度実績
心配ごと相談事業 (下野市委託事業)	市民の日常生活上の相談に応じ、適切な助言を行った。 ・相談員 民生委員児童委員、人権擁護委員、行政相談員 ・時間 午後1時30分～3時30分	毎月 第1～3月曜日	石橋地区 石橋公民館	16件【24件】
		毎月 第1～4火曜日	国分寺地区 ゆうゆう館	21件【17件】
		毎月 第1～3金曜日	南河内地区 南河内図書館	12件【14件】
無料法律相談事業 (下野市委託事業)	弁護士による無料法律相談(要予約)を実施した。 ・相談員 県弁護士会より派遣 ・時間 午後1時～4時30分	年12回	ゆうゆう館 相談室	112件【108件】

(12) 資金貸付事業

事業名	事業の概要等	備考	
		※【 】は30年度実績	
小口資金貸付事業	低所得者及び生活困窮者の市民に対して、生活費等の必要な資金を貸付けることにより、経済的自立及び生活意欲の向上を図った。 ・貸付限度額 30,000円(無利子)	相談件数	20件【12件】 貸付数 16件【11件】
生活福祉資金貸付事業 (県社協委託事業)	低所得者・障がい者・高齢者・生活困窮者・避難世帯等を対象に資金の貸付と民生委員による必要な援助指導を行うことにより、経済的自立と生活意欲の向上を図った。 ・資金の種類「総合支援資金」「福祉資金」「緊急小口資金」「教育支援資金」	相談件数	38件【19件】 貸付数 0件【1件】
行旅人援護事業	行旅人に対し援護費の支給を行った。 ・支給額 小山駅または宇都宮駅までの鉄道運賃額	支給件数	7件【4件】

(13) 会員募集

事業名	事業の概要等	期日	備考 ※【 】は30年度実績
社協会員募集	<p>市民の福祉ニーズに応え、地域福祉の向上と事業推進を図るため、自治会・企業等の協力を得て会員募集を行った。</p> <p>・会費の種類</p> <p><普通会員> 12,894,400円 【12,942,700円】</p> <p><特別会員> 703,000円 【800,000円】</p> <p>合計 13,597,400円 【13,742,700円】</p> <p>・普通会員加入率 約81.0% 【約83.8%】</p>	5月～6月	<p>・普通会員 13,006件 【13,081件】</p> <p>・特別会員 法人事業所 173社 【189社】</p>

(14) 広報活動

事業名	事業の概要等	期日	備考 ※(発行、件数等)
広報紙の発行	市民に向けて社会福祉事業に関する情報等を提供し、社会福祉協議会に対する理解を図るため、広報「しもつけ社協だより」を発行した。	年6回発行 5月、7月、9月、 11月、1月、3月	各戸配布及び関係機関窓口 (16,600部発行)
ホームページ活用(インターネット情報発信)	本会ホームページを活用し、事業PRや本会運営に関する事など、インターネットを通じて迅速な情報発信を行った。	通年	情報更新回数 77回 【76回】
報道機関の活用(PR)	<p>各新聞社、テレビ局、FMラジオ等の報道機関を活用し、本会活動PRのため情報発信を行い積極的にアピールした。</p> <p>8月：講演会【下野新聞】ジュニアふくし【よみうりタイムス】</p> <p>9月：寄付(ゴルフ協会)【下野新聞】</p> <p>1月：ゆうゆう館【FMゆうがお】</p> <p>2月：しもつけ福祉大会【下野新聞2回・FMゆうがお】 寄付(車両)【下野新聞】</p>	通年	3社 8回掲載・出演 【3社 6回掲載】

(15) 共同募金事業

事業名	事業の概要等	期 日	備 考 ※【 】は30年度実績
共同募金運動の実施	市民を対象に一世帯あたりの募金目安額を800円とし募金活動を行った。また、法人・学校・職域・街頭募金を実施した。 ・募金合計 <u>11,459,070円</u> 【11,560,028円】	10～12月	法人 168社 【173社】 戸別 12,922戸 【13,027戸】 街頭募金・学校募金等 39件 【39件】
歳末たすけあい配分事業	市内福祉施設の入所者及び利用者を対象に歳末見舞品を配布した。また、市内在住の70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に民生委員の協力により歳末見舞品を配布した。 (おせち・切り餅・カイロ等)	12月	施設利用者 1,145名 【1,149名】 ひとり暮らし高齢者 国分寺地区 388名 【384名】 石橋地区 457名 【420名】 南河内地区 295名 【270名】 合 計 1,140名 【1,074名】
災害見舞金の配分	市民が火災等の非常災害を受けた際に、その被災世帯に対する見舞金・弔慰金の配分を行った。 ・火災 (全焼3件)	通 年	3世帯 【2世帯】

(16) 日赤事業

事業名	事業の概要等	期日	備考 ※【 】は30年度実績
日赤社資募集	市民を対象に一世帯あたりの目安額を500円とし、赤十字活動資金の募集を行った。 合計6,559,400円【6,611,850円】	5月～6月	13,250件 【13,332件】
災害救援物資の配分等	市民が主に火災などで被害を受けた際の救援物資の配分及び弔慰金の支給を行った。 ・救援物資交付 6件	通年	6世帯 【2世帯】

(17) 福祉団体の支援

下記団体が実施する活動に対して、助成金を交付し事務事業の支援を行った。

① 事務局および助成金交付団体（合計1,260,000円）

団体名	助成額	主な事務・事業支援内容
下野市ボランティア連絡協議会	350,000円	活動者相互の交流や情報交換の場の提供、各種事業の開催を通してボランティア活動推進の支援に努める。
下野市老人クラブ連合会	300,000円	会員の福祉向上と相互の親睦、資質の向上を図る事を目的とし、社会奉仕・スポーツ大会・老人クラブ大会・福祉のつどい・研修会等の活動を行い、諸団体との交流を行う。
下野市身体障害者福祉会	260,000円	障がい者の福祉向上と会員相互の親睦、資質の向上を図り、各種活動を通じ、身体障がい者の福祉を増進する。
下野市心身障害児者父母の会	100,000円	心身障がい児者の福祉の向上を図る事を目的とし、各種活動を通じ諸団体との交流を行う。
下野市ひとり親家庭福祉会	50,000円	ひとり親家庭世帯の福祉向上と会員相互の親睦、資質の向上を図る。
下野市遺族会	200,000円	英霊の顕彰・戦没者遺族の福祉向上と会員相互の親睦を図る為、追悼式・慰霊祭、各種研修会等を行う。

②助成金交付団体（合計 1,170,000円）

- 自治会長連絡協議会（助成額 100,000円）
- 子ども会育成会連絡協議会（助成額 100,000円）
- 民生委員児童委員協議会（助成額 300,000円）
- おもちゃの図書館（助成額 120,000円）
- 人権擁護委員会（助成額 50,000円）
- 特別支援学校合同研究会（助成額 200,000円）
- レクリエーション教室（助成額 300,000円）

6. 在宅介護サービス事業

(1) 居宅介護支援事業【介護保険事業】

・日常生活を営むために必要な居宅サービスが利用できるようにサービス計画の作成を関係する事業者等と連絡調整を行った。

① ケアプラン作成

※【 】は平成30年度実績

事業所名	介護支援 専門員数	利用者人数(月別)												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ケアプランセンター 下野市社協	常勤3名	103	101	103	103	97	97	97	94	93	97	96	102	1,183名 【1,474名】

② ケアプラン介護区分別作成人数

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
494	366	148	114	61	1,183名

③ 予防プラン作成人数

※【 】は平成30年度実績

利用者人数 (月別)												合計
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
17	17	17	16	16	16	15	15	15	14	13	13	184名【238名】

(2) 通所介護事業【介護保険事業】

・介護予防や要介護認定を受けた方に対し、入浴サービス・食事・生活相談等の支援を行った。

※【 】は平成30年度実績

事業所名	介護区分	利用者人数 (月別)												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
下野市社協 デイサービス センターのぞみ	総合事業	11	11	11	11	10	11	10	10	10	10	9	11	125
	要支援1	4	4	4	5	4	3	3	3	3	3	3	3	42
	要支援2	2	3	3	3	3	5	6	7	7	7	7	7	60
	要介護1	23	24	24	26	24	22	22	22	22	23	20	21	273
	要介護2	15	13	12	12	12	10	14	11	12	10	11	9	141
	要介護3	2	2	2	3	4	7	6	6	6	6	6	7	57
	要介護4	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	6
	要介護5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	合計	59	59	58	62	59	60	62	60	61	60	57	59	716名 【656名】

(3) 地域包括支援センターの運営【下野市委託事業】

- ・地域包括支援センターにおいて、在宅で介護を必要とする者またはその介護者に対し、介護予防サービス計画及び在宅介護に関する総合相談、助言、関係機関との連絡調整を行った。

① 月別件数

※【 】は平成30年度実績

事業所名	内 容	利 用 者 人 数 (月別)												小計	合 計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
地域包括支援センター	予防プラン作成 件数	55	52	51	48	49	54	53	57	57	56	55	54	641	1,221名 【1,246名】
	介護予防・日常生活支援事業 チェックリスト該当者	46	47	47	52	41	49	53	50	49	47	49	50		

② 主な相談内容

※【 】は平成30年度実績

		相 談 内 容										合 計
内 容	介護予防	身体・生活 全般	社会資 源連携	介護保険	行政福 祉サー ビス	認知 症・精神 疾患	権利 擁護	CM相 談・支援	経済	医療 連携	その他	
件数	2,459	2,529	49	1,737	331	576	416	200	136	242	174	8,849名 【9,266名】

③ 健康教育事業の開催

対 象 者	内 容	会 場	参加者人数 ※【 】は平成30年度実績
独居高齢者・老人クラブ・希望者等	栄養、口腔、ストレッチ、認知症サポーター養成講座等、介護予防の一環として、地域に出向き、健康教室を年29回開催した。	ゆうゆう館、国分寺公民館、国分寺小、ポッポ館、友愛館、駅西児童館、各自治会公民館	延べ 870名 【629名】

④ 元気はっらっ体操事業

対 象 者	内 容	会 場	参加者人数 ※【 】は平成30年度実績
希望者等	地域住民が主体となって運動を継続できる組織作りを支援するための体操指導を年60回開催した。	国分寺公民館、中央コミセン、下町公民館、医大前コミセン有料老人ホーム新、国分寺小学校、ポッポ館、東方台地コミセン	延べ 949名 【132名】

⑤ ほっと介護教室（3センター合同開催）

対 象 者	内 容	会 場	参加者人数 ※【 】は平成30年度実績
介護に興味のある方	高齢者の健康や介護、消費者被害に関することなどの勉強会を行い、将来の介護や健康についての教室を年3回開催した。	ゆうゆう館・きらら館・生涯学習情報センター	延べ 43名 【74名】

⑥ 家族介護交流会（3センター合同開催）

対 象 者	内 容	会 場	参加者人数 ※【 】は平成30年度実績
高齢者を在宅で介護している 家族	交流会に参加することにより、介護から一時的に解放され、身体的・精神的リフレッシュを図る目的で年3回開催した。	ゆうゆう館・薬師寺コミセン・きらら館	延べ 45名 【37名】

7. 収益事業

事 業 名	事 業 概 要	※【 】は平成30年度実績
天平の花まつり旗の販売	市内外企業等に協力依頼し、天平の花まつり奉納用のぼり旗の販売を行った。 価 格 8,800円/本 販売額 809,600円 92本	【809,600円 92本】

8. ゆうゆう館指定管理業務

事 業 名	業務の概要	内 容 ※【 】は平成30年度実績
「ゆうゆう館」指定管理 事業	市民の保健の向上及び福祉の増進を図り、保健サービスおよび福祉サービスを推進し、施設の効率的かつ効果的な管理運営を行いました。	自主事業として、自動販売機設置及びマッサージ事業を導入し市民へのサービス向上に努めるとともに、ポスター・パンフレット作製や「ゆうゆう館」ホームページを開設し、情報発信の充実を図った。 ○入浴施設等の利用状況 ・天平の湯入館者数 144,720人 【134,876人】 ・利用料収入 30,776,100円【28,671,400円】

		<p>○施設空調工事の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5月15日～9月11日 <p>保健センターエリア・調理室・社協事務室・会議室・相談室 高齢者生きがい作業所</p> <p>○ホームページの開設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更新回数 6回
--	--	--

9. 社協事業の経営分析等の推進

事業名	業務の概要	内容
社協事業の経営分析等の推進	自主事業等を中心に経営状況の分析と職員の経営に関する啓発を図りながら、事業の検討・見直しなどを行った。また、会計事務所等から経営的な視点にもとづくアドバイスを受け自立した社協を目指し、経営の安定・向上に取り組んだ。	<ul style="list-style-type: none"> ・社協事業全般に亘る事業シートを作成し、重点事業を中心に課題の洗い出しを行い、ふれあい福祉運動会等の事業内容の改善に取り組んだ。また、介護保険事業では、居宅介護事業及び通所介護事業の経営安定を図るため利用者の確保に努めた。 ・指定管理業務については、取り引き先の業者選定の見直しを図り、経費削減に取り組み経営の向上に努めた。

令和元年度事業報告書追加資料

10. 法人後見事業の推進

事業名	業務の概要	内容
法人後見事業の推進	認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者等で判断能力が不十分な方や、意思決定が困難な方の判断能力を補うため、法人で後見業務を受任し、財産管理や身上監護を中心とする権利擁護サービスを提供した。また、市民からの権利擁護に関する相談対応を行った。	<ul style="list-style-type: none"> ・後見業務（身上監護、財産管理） 関係機関とのケース会議や法人後見運営委員会を経て家庭裁判所より受任した成年後見（保佐、補助を含む）業務を実施した。 【受任件数（後見）：4名】 ・権利擁護に関する相談 成年後見等に関する相談を受け、制度の説明や適正な機関の紹介に繋いだ。 ・法人後見運営委員会の開催 社協にて後見を希望するケースが発生した際、運営委員会において受任の可否を判断した。また、被後見人の支援状況の経過報告等をおこなった。【2回開催（7月、12月）】

11. 災害ボランティアセンター運営及び支援

事業名	業務の概要	内容
下野市災害ボランティアセンター設置・運営	台風19号災害における市内の被災状況や被災者の支援ニーズの把握、災害支援ボランティアの登録を行い被災者支援に取り組んだ。	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティアセンターの設置 10/15～18日 ・被害状況 床上・床下浸水 34世帯 ・災害支援ボランティア登録 13名 ・被災者支援ニーズ 1世帯（家財道具の運び出し）、活動者 7名
県内市町社協災害ボランティアセンター運営支援	台風19号災害における県内各社協災害ボランティアセンターに職員を派遣することにより、運営支援を行った。	<ul style="list-style-type: none"> ・足利市社協、鹿沼市社協災害ボランティアセンター運営支援 ・職員5名の派遣（1名につき3日間）

